



渋谷「UTOPIA / DYSTOPIA」がメインシステムにL-Acousticsを選択 地下深くに響く、ストイックなクラブサウンド



2025年12月、渋谷のナイトクラブがしのぎを削る円山町に、新感覚のエンターテインメント空間「UTOPIA (ユートピア)」と「DYSTOPIA (ディストピア)」がオープンしました。

UTOPIA / DYSTOPIAを手掛けるのは、宇田川カフェや道玄坂教会をはじめとするカフェ・レストラン事業、また下北沢シャングリラや渋谷近未来会館などのライブハウス事業を展開する株式会社エル・ディー・アンド・ケイです。

地下1階は、真っ赤な装飾とアートに包まれたパースペーの「UTOPIA」。地下2階は、音に没入できるクラブフロア「DYSTOPIA」。それぞれ個性が異なる空間となっています。

今回は、L-Acousticsの「A10i」と「KS21i」がメインシステムに据えられた「DYSTOPIA」の納入事例をレポートします。

お話をうかがったのは、UTOPIA / DYSTOPIAのマネジメントを行う金子 隼也氏と、同店の音響・照明を総合的にプロデュースするサウンドエンジニアの小机 暁氏です。



DYSTOPIAは小規模ながらも珠玉のサウンドを備え、暗闇の中で黙々と音に没頭できる、アンダーグラウンドの空気感を受け継いだクラブスペースです。このコンセプトにマッチするサウンドシステムを構築するため、金子氏からは「体で低音を感じることができ、ストイックに音楽が聴ける音質」というオーダーが小机氏へ出されました。

別プロジェクトでの経験から、以前よりL-Acousticsを高く評価していた小机氏は、機種選定の理由をこう語ります。「下見の際、天井は高いものの、縦長で横幅があまりない構造だと分かりました。指向角が広すぎるスピーカーでは音の反射が邪魔になります。力強さとクリアな音質を両立できる製品を考えたとき、L-Acousticsしかないと結論づけました」



※ TANNOYのペンダントスピーカーが天井から吊るされた「UTOPIA」のレポートはこちら (ピーテック HP)





キャパシティを考慮し、メインシステムにはA10i WIDEを片側2台、DJブース下にモノサブとしてKS21iを設置。DJモニターにはX8を2台採用しました。アンプリファイドコントローラーは、メイン用にLA4X、DJモニターとサブウーハー用にLA2Xiを各1台導入しています。

DYSTOPIAのシステムは、DJプレイヤーからアンプリファイド・コントローラーの出力直前まで、すべてデジタル信号でルーティングされています。DJプレイヤーとデジタル接続されたDJミキサーからはAES/EBUで出力し、AES/Danteコンバーターを介してFOHのコンソールへDante入力されます。そこからスイッチングハブで分配された信号は、再びAES/EBUに変換され、メインを駆動するLA4Xと、モニターおよびサブウーハーを駆動するLA2Xiへと送られます。設計した小机氏は「AD/DA変換を繰り返さないため、音がタイトで非常にクリアです」と胸を張ります。



DJブース内。X8とKS21iを駆動するLA2Xiが収められている。

【ベストオーディオスタッフ】

実際に音を聴いたところ、A10iの背面側は思いのほか静かです。A10iの優れた指向性を活かした小机氏のチューニングによって、メインの音がDJブースへ回り込みにくくなっているため、DJはモニターのX8を使って最適な音量でモニタリングできます。音質が明瞭でA10iとキャラクターが統一されているため、フロアの観客とほぼ同じ感覚でプレイできるのも利点です。モニター音量を過度に上げずともビートのエッジを捉えられるため、長時間のプレイでも耳の疲労を抑えることが可能です。



右：株式会社エル・ディー・アンド・ケイ 金子 隼也氏
左：サウンドエンジニア 小机 曉氏

金子氏は、L-Acousticsの導入がブランディングにも寄与していると語ります。「L-Acousticsが入っていることは、同業者の間でも大きな話題になります。良いスピーカーは他にもありますが、このサイズのクラブでL-Acousticsの音を体感できるという点にこだわりました。これが他店との差別化につながります」

L-Acousticsのサウンドは、お客様からも「低音を体で感じるのに聴き疲れしないから、ストイックに踊れる」「フロアで会話ができる」と好評です。小机氏は「実はそれほどボリュームを上げていません。サブウーハーがしっかり機能し、音がクリアだからこそ、大きく感じられるのでしょう。十分な満足感がありながら耳への負担が少ないため、長い時間音楽を堪能できます」と分析します。

最後に、金子氏に今後の展望をうかがいました。「この音質を日本中のクラブに楽しんでほしいです。また、インバウンドのお客様が帰国した際に『日本にすごいL-Acousticsの店があったよ』と自慢してもらえるような場所にしたいですね」

日本のアンダーグラウンドなクラブ文化が息づく渋谷に生まれたDYSTOPIAは、クラブが探し求めていた「音に没入できる空間」そのものです。まずは訪れて、その音に身を委ねてみてはいかがでしょうか。

UTOPIA / DYSTOPIA

〒150-0044 東京都渋谷区円山町4-6 QLINK 渋谷神泉 B1F B2F

<https://www.udagawacafe.com/utopia-dystopia/>

https://www.instagram.com/utopia_dystopia_shibuya/